

二兎社公演 44



『ザ・空気 ver. 3』そして彼は去った…

日時:2021年2月27日(土)開場 13:30/開演 14:00

会場:森のホール

料金:1階席:一般 5,000円 フレンズ会員 4,500円(前売のみ)

2階席:一般・フレンズ会員 3,000円 1・2階席:学生 2,000円

※全席指定 ※未就学児入場不可

発売日:フレンズ会員 12/5(土) 一般 12/12(土)

作・演出:永井愛 出演:佐藤B作、和田正人、韓英恵、金子大地、神野三鈴

2018年、メディアと政府の癒着に鋭く切り込み話題となった二兎社の「ザ・空気 ver2 誰も書いてはならぬ」から2年。いよいよ来年2月にシリーズ完結編が長久手で上演されます。完売御礼のなか上演された前作では、初めてお芝居を観る方にも沢山来ていただき、「笑えるけれどぞっとした」、「今の日本のリアルを観たようで考えさせられた」、など絶賛の声を多数いただきました。完結編の舞台はテレビ局。報道の自主規制が機械的に再生産されていくさまを恐怖と笑いのなかに描き出します。完売必至の人気公演ですので、ぜひお早めにお申し込みください。



サックス & ピアノ 3 クラシックとジャズの交差点



日時:2021年1月14日(木)
開場 13:30/開演 14:00

会場:森のホール

料金:1,000円

※全席指定※未就学児入場不可
好評発売中

出演

サックス:石川貴憲、坂井彰太郎 ピアノ:丸尾祐嗣、平光広太郎

2018年から始まった「サックス&ピアノ クラシックとジャズの交差点」の第3弾。クラシックとジャズを比較しながら、それぞれのジャンルの真髄に迫る人気企画です。同じサックス奏者と言えど、専門が違えば頭の中身もまるで違います。アドリブに弱いクラシック奏者、楽譜を読めないジャズプレイヤー…。今回も予定調和無しで、二つのジャンルの魅力をさらに浮き彫りにしたいと思います。ぜひ聴きにいらしてください。



ひとりごと

2020年は春号を発行しただけで休刊。

冬号は、錆びた脳を磨いて

なんとか発行にこぎつけた。 (み)



小さな美術館 ほととすぺーす

長久手市在住 M

長久手市には「名都美術館」があります。私はよくアピタに買い物に行くついでに寄ります。ほかの美術館だと、ちょっとおしゃれて出かれますが、ここではそんなに気にしないで入ってしまいます。また、大きな美術館だと、たくさんの作品を見て…となり、半日がかりでクタクタになります。ここは小さな美術館なので展示品も少なく疲れることはありません。しかも私が大好きな日本画の美術館で、山口華楊さんなど、ここにきて初めて知った画家も多くいます。

特に思い出に残っている展示会は昨年百歳で亡くなった堀文子さんの特別展(2012年)でご本人が文化の家の光のホールにいらしたのです。この方の作品はもちろんのこと、芯の通った生き方も、また、現代ではほとんど聞くことのできない美しい言葉遣いも好きでした。追悼展が2022年に開かれるらしく、今から待ち遠しいです。コロナ禍で、しばらく休館を余儀なくされましたが、こんなすばらしい美術館にいつでも行けるといふ幸せが、いつまでも続くことを祈らずにはいられません。